



平成19年(2007年) 9月20日発行

ふくしまファンクラブ

会報

第2号



(右上) のどかで美しい風景が広がる金山町
(左上) ポコポコと溢れる天然炭酸ポトルも飲み口同様に爽やか

今回の話題は、“天然水”。国内産としては、大変珍しい、地下で天然水と自然の微炭酸がほどよく含有した、天然の鉱泉がボトリングされた、天然炭酸水です。



同10年、旧会津藩士が仲間数人とこの炭酸水を瓶につめて「太陽水」と命名。慢性胃腸病・糖尿・便秘などの妙薬として売り広めたようです。

同36年には、日本の飲料の父と言われる倉島謙氏が岩代天然炭酸鉱泉(株)を創立。その後、アポリネリス社と提携し、この地に工場を建設。同38年、本格的な瓶詰製品「芸者印タンサン・ミネラル・ウォーター」をヨーロッパ諸国へ輸出を開始。国内では「万歳炭酸水」の商標で、東京銀座に直営店を設け、各国の大使館など上流社会に歓迎されました。

しかし、問題は輸送。当時の金山町から会津若松市までは、山また山の悪路18里(72キロ)。馬や船を使う搬出に費用を要し、やむなく休業。

そして、休業から約100年を経た平成16年11月、昨今の天然水ブームを背景に、“a

Wa心水”として金山の炭酸水は蘇りました。ところが肝心の味ですが、発売元の会津心水

飲んでみました awa心水

- 本日に喉が潤いたとき、awa心水を一気に飲み干すのが大好きです。微炭酸が乾いた喉を微妙に刺激し、他の飲料水にはない爽快感を与えてくれます。
- 私の周囲の“呑み助”の間では、焼酎のawa心水割りがかきかきにブーム。彼ら曰く「悪酔いしない」とか。(真偽のほどは不明ですが…)

東京大手町と大阪なんばで、ふるさと暮らしについて考えてみませんか？

ふるさと回帰フェア

日経ホール(日本経済新聞社ビル8階)
13:00~15:00 東北サミット
要予約。9/28(金)締切。先着順となります。

サンケイプラザ

10:00~17:00 ふるさと回帰自治体相談コーナー
福島県・会津若松市・郡山市・いわき市・白河市・須賀川市・会津坂下町・金山町・三春町・小野町・昭和村・泉崎村が参加します。「ふるさと暮らし」を考えている方は、ぜひお越しください。予約不要。

大阪 なんば 10月27日(土)

なんばパークス

11:00~17:00 ふるさと回帰自治体相談コーナー
福島県が参加します。

10月6日(土) 東京 大手町

福島県フェア

J Aホール(J Aビル9階)
10:30~12:20 福島暮らし体験リレートーク「私の見た福島を語る」
福島に関わりのある皆さんが、福島県について大いに語ります。また、福島県に関するクイズやプレゼントも用意しています。要予約。9/28(金)締切。先着順となります。

出演者 映画『フラガール』関係者/青砥昭修(喜多方市熱塩加納町在住。日本画家、大学講師、1ターン者)/鄭玄実[ちよん・ひよんしる](福島市在住、NP O理事長。『田舎暮らしの韓国人』著者) *コーディネーター* 小川真由美(元ラジオ福島アナウンサー)
13:30~15:30 記念上映会『フラガール』

メトロスクエア周辺
10:00~16:00 福島県のうまいものや地酒を味わえます

※申し込み方法など詳しくは、ふるさと回帰フェア2007のHP(<http://www.furusatokaiki.net/past/furusatofair2007/>)または電話(03-6812-8689)にてご確認ください。

(株)の管家さんは、「お客様からは、海外製の炭酸水より飲みやすい、という感想をいただいています」とのこと。
また、鉱泉を飲むことと同じなので、サプリメントとして飲む

んでいる方も多いようです。金山町は、日本の原風景が残る本心に心から癒やされるところです。金山町へ想いを馳せながら、awa心水をぜひ味わってみませんか。

※アポリネリス社 当時、ヨーロッパ最大の天然炭酸鉱泉会社。
<取材協力>会津心水株式会社(電話 0241-56-4888)

awa心水は、東京上野のサテライトショップ ふくしま(創刊号参照)や東京葛西のふくしま市場(最終ページ参照)でも購入できます。



Reason to Live in Fukushima

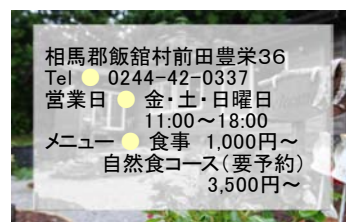
ふくしまに住む



【上】飯館村の村上さん。お店前の田んぼでは、アイガモ農法でお米を育てる。
【下】二本松市の武藤一夫さん・今子さん御夫妻。本業のなめこ栽培も忙しい。

今回は、ふくしま産の食材にこだわった農家レストランを紹介します。結婚を機に飯館村へ1ターンされた村上克枝さんと、二本松市東和地区に住み移住者の受入れ活動もされている武藤一夫さんにお話を伺いました。

●●● 自然食農家レストラン ●●● ●●● なないろの空 ●●●



「なないろの空」は、平成18年2月、飯館村に開店。自然食レストランや菓子店などで経験を積んだ静岡県出身の村上克枝さんと、夫・真平さんが迎えてくれます。

●●● 温もりが伝わる建物 ●●●
●●● 店は、国産材を使い、木材を生かしたデザインを考え、一年かけて手作りました。家具や道具なども自分たちで作っています。

●●● 食材へのこだわり ●●●
●●● 米や野菜、きのこ、ハーブを無農薬・無化学肥料で育てています。鶏も平飼いです。野山の恵みである木の実や山菜、野菜と一緒に採り出しています。ここで採れる食材にこだわり、肉や魚は使っていません。ケーキのクリームも豆腐を加工したもの、コーヒーは玄米から

風味を出したものです。調理法も、長く煮込む時は薪を使うなど、昔からの知恵を生かし、できるだけ自然に、と心がけています。

●●● 飯館村での生活 ●●●

ここでは、井戸水やわき水を使っていて、流れ星が見えるくらい星空もきれいなんです。都会育ちの私は、地域のしきたりに時々驚かされますが、地域の皆さんは本当に温かいですね。土に埋めて大根を保存する方法や凍み大根の作り方など地域の「技」を教えてください。

●●● これからの夢 ●●●

来た方が、食事だけでなく、自分の好きなように時間を過ごせる空間を提供していきたいら、嬉しいですね。

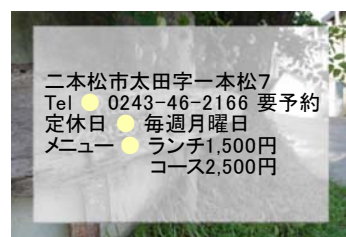


地域の食材や鮮やかな料理



温もりの木いっぱい店内

●●● 農家レストラン ●●● ●●● 東和季の子工房 ●●●



●●● はじめたきっかけ ●●●
●●● 農村でちよつとおしゃれに食事できる場所があれば、と思っただのが始まりです。調理専門学校を卒業後、東京で修行していた息子が戻ってきたことが一番のきっかけですね。

●●● 食材へのこだわり ●●●
●●● 自家栽培のなめこ洋食を組合わせたメニューが自慢。おがくず肥料で栽培した自家用野菜や地産の食材を使っています。天然酵母のパンやピザは妻が、デザートはパティシエの技術を学んだ息子が腕をふるいます。決まったメニューはな

く、食べてもらいたいものこそ、の日の食材で準備しています。

●●● 農業と農家レストラン ●●●
●●● 農業は自己完結する職業。農家レストランという形で交流を持つことによって、もつと魅力のあるものになると思っています。

●●● 東和地域について ●●●

平成17年12月の合併で二本松市となり、「東和」という意識が薄れていくことに不安を感じています。東和らしく地域が元気になれることが課題です。現在、NPO法人東和ふるさとづくり協議会で就農体験受入れなども行っていて、体験後に東和へ移住した方もいらつしゃいます。外の方が来ることで、地域に新しい活力がうまれ、地域の人にも東和の良さをわかってもらえれば、と思っています。



平野の野菜を使った季節メニュー



は日毎のメニューと食材



ふくしまをしる 識

ふくしま歴史探訪 草野心平氏



【上】いわき市を訪れた時の黄瀛氏
【左】福島とゆかりの深い草野心平氏
(写真提供:いわき市立草野心平記念文学館)



今回は草野心平氏です。

蛙の詩で有名な草野氏(以下「心平」)ですが、大正期に排日英運動高まる中国に渡り、広州嶺南大学で唯一の日本人として留学するなど、生涯にわたって中国との交流を続けた日中交流の草分け的存在でもあります。特に詩人・黄瀛氏との交友は心平に大きな影響を与えています。

黄瀛との出会い

二人は、詩の投稿雑誌を通じて文通を始めましたが、本格的な交友を始めたのは、心平が排日英運動の激化により帰国し、日本留学中の黄瀛の下宿に居候するようになってから。高村光太郎氏とも既知だった黄瀛は、心平を光太郎に引き合わせました。光太郎

草野心平氏とは？

1903(明36)年いわき市小川町生まれ。義塾に編入するも退学。以後「蛙」など多くの詩を世に出した。1953(昭28)年双葉郡川内村に招かれ、以来、同村の魅力に惹かれ、天の山祭など地域住民と住居を続けた。(いわば二地域居住者) 1949(昭24)年『定本蛙』に第1回読売文学賞(詩歌部門)賞。1987(昭62)年文化勲章受章。

黄瀛氏とは？

1906年中国重慶生まれの詩人。父は中国人、母は日本人。高村光太郎のモデルを務めていた。化学学院に入学したが、卒業後官学校に進んだ。卒業後は中国国民党将校となった。

汪兆銘政府とは？

対日有和派の汪兆銘が、蒋介石・毛沢東の抗日統一戦線に対抗して南京に作った政府。当時の日本政府もバックアップしていた。

の芸術的人格に惹かれた心平は、これ以降一層芸術への思いを強めたと言われています。しかし、その後、日中関係の悪化により黄瀛は帰国し、二人は音信不通となってしまいました。

黄瀛との再会

戦時中、汪兆銘政府の宣伝部顧問として迎えられ渡中していた心平は、終戦直後、国民党将校になっていった黄瀛と偶然再会しました。黄瀛の尽力により、心平は辛くも日本に帰ることが許されましたが、心平や山口淑子(中国名・李香蘭)氏など日本人の帰国に携わった黄瀛は、中華人民共和国成立後20年以上に渡る牢獄生活を強いられました。

時空を越えた友情

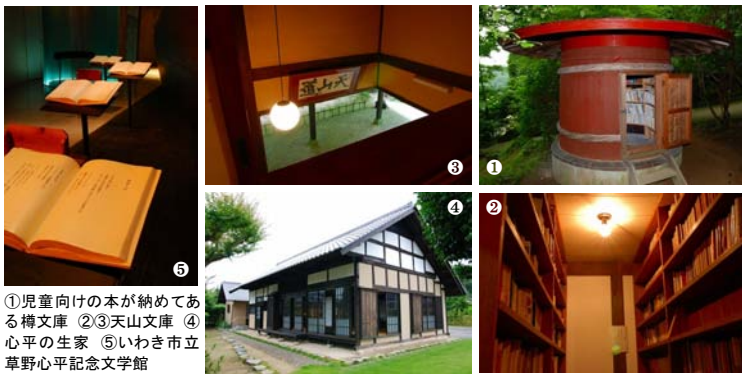
昭和59年、獄中生活から解放され、四川外国語学院の日本語学部教授となっていた黄瀛は50年ぶりに来日を果たしました。来日の際、心平は黄瀛を川内村の天山文庫に招き、旧交を温めました。

昭和63年、心平は亡くなりましたが、その12年後、老齡の

黄瀛はいわき市にある心平の墓と草野心平記念文学館をわざわざ訪れ、次のような言葉を残しています。

草野よ君は死んだが作品は残った。立派な陳列館だ。僕はもう来ないがまた会えるだろう

今は二人とも亡き人ですが、友情はまだ生きています。この秋、困難な時代に友情を温めた二人の熱い思いに触れる旅はいかがでしょう。



①児童向けの本が納められている書庫 ②天山文庫 ③心平の生家 ④いわき市立草野心平記念文学館

取材協力:川内村、いわき市立草野心平記念文学館(小野浩学芸員)

体験ツアーのお知らせ

相双 9/29(土)~30(日)
飯館村・浪江町津島・葛尾村・田村市都路町・川内村

『あぶくまロマンチック街道 田舎暮らし体験ツアー ~福島に田舎を作ろう~』
◆内容と場所 自然と遊ぶ(飯館)・田舎料理を食べよう(津島)・健康になる(葛尾)・農作業をしよう(都路)・山仕事をしよう(川内) ◆参加費 3千円(交通費・宿泊費別途) ◆申し込み・問い合わせ先 福島県相双地方振興局(電話0244-26-1117・先着順)

県中 10/20(土)~21(日)
田村市・三春町・小野町

阿武隈地域ふるさと発見ツアー
◆内容 ふるさと体験、定住体験懇談会 ◆場所 1日目:小野町、2日目:田村市・三春町・小野町の各コース ◆参加費 大人1万円、小学生以下7千円(1泊4食付・東京発着貸切バス利用) ◆募集人員 30名(最小催行人員5名・先着順) ◆申し込み・問い合わせ先 トップツアー(株)郡山支店(電話 024-922-0109)

県北 10/20(土)~21(日)
伊達市霊山町内

『県北あぶくま地域』体験交流モデルツアー
◆内容 農業体験、UIターン実践者との交流会 ◆場所 伊達市霊山町内 ◆参加費 大人1万円、小学生以下7千円(1泊4食付・東京駅発着貸切バス利用) ◆募集人員 30名(先着順) ◆申し込み・問い合わせ先 (株)日本旅行福島支店(電話024-522-6163)

ふくしま暮らしを体験
福島でふるさと暮らしを検討されている皆さん、この秋、福島での体験ツアーに参加してみませんか。



ふくしま市場

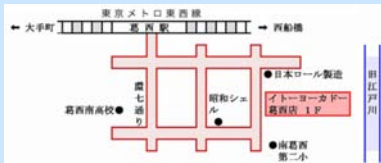
【営業時間】 10:00～21:00
(年中無休)

【住所】 〒134-0084
東京都江戸川区東葛西9-3-3
イトーヨーカドー葛西店1階

【電話】 03-5659-2762

【アクセス】

地下鉄東西線「葛西駅」下車
徒歩25分またはバス8分（イトー
ヨーカドー無料シャトルバス、
または、都営バス 葛西臨海
公園前行きまたは コーシャ
ハイム南葛西行きで「東葛西
9丁目」下車）



ふくしまファンクラブの皆さん、こんにちは。皆さんは「ふくしま市場」をご存知でしょうか。
今年の8月に東京都江戸川区のイトーヨーカドー葛西店1階に開設し、福島県のアンテナショップとして特産品の情報発信基地になっています。店内では、旬の果物や野菜をはじめとした農林水産物や地酒、調味料、菓子等の加工食品のほか、起き上がり小法師や赤べこなどの民芸小物など、約1000アイテムを販売しています。



福島県アンテナショップ 「ふくしま市場」

ふくしまを知るために・・・首都圏の窓口 ②



店長の桜田さんが、爽やかな笑顔で迎えます。

ぜひ御来店ください。

今年8月には、一周年記念の物産展を開催し、多くのお客様にお出でいただきました。
売れ筋商品は旬の果物やお菓子、乳製品ですが、近頃では、米や新鮮な野菜を買い求めるお客様も増えて、福島の味が浸透してきました。10月には「新米フェア」を開催する予定です。県内各地の美味しいお米を取り揃えて、皆さんをお待ちしておりますので、ぜひ御来店ください。

会員特典が受けられます
会員証を提示すると会員特典を受けられるお店が増えました。詳しくは、同封のチラシをご覧ください。秋の福島路を楽しみながら、ぜひご利用にいらしてください。

ファンクラブ インフォメーション



メルマガも配信しています。
ふるさと暮らしを希望する方を対象に「ふくしま あったか通信」ふくしまふるさと暮らしメルマガジンも配信中です。移住への縁結びをしてくれた方、ふくしまのニュースなどをお知らせしますので、下記HPからぜひ登録を。

ふくしまUIターンHP(パソコンのみ)
<http://www.pref.fukushima.jp/fui/>

情報いっぱい!

ふくしまUIターンHP

福島でふるさと暮らしを考えている皆さんに、地域情報や住宅情報などを発信しています。相談窓口や各市町村の概況などもお知らせしていますので、ぜひアクセスしてみてください。

*** 新しいコーナーができました ***

福島県出身で、福島を愛している皆さんが、福島への熱い想いを語る「ふくしま応援隊」のコーナーができました。現在、矢吹町出身で元読売ジャイアンツの中畑清さんと小野町出身で東京農業大学教授の小泉武夫さんの動画を配信しています。

また、福島へ移住を希望されている方と地域の架け橋の役割を果たしている方を紹介するコーナーも始まりました。金山町役場の須佐光夫さんや川俣町役場の橋本隆秀さんをご紹介します。

「ふくしまUIターン」で検索

<http://www.pref.fukushima.jp/fui/>

ふくしまのうまいもん Present プレゼントクイズ

クイズに答えてくれた方の中から抽選で10名様に、会津心水(株)の「awa心水」250ml 6本入りをプレゼント!

問題

福島県が、福島でのふるさと暮らしを応援するために開設しているホームページの名前は?

答:ふくしま〇〇〇〇〇ホームページ



応募方法 官製はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、会員番号、クイズの答え、今回の会報の感想などを明記し、下記のあて先へお送りください。

応募締切 10月31日(水) 必着

あて先 〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16

福島県地域振興グループ

ふくしまファンクラブ「プレゼント」係

*当選者の発表は賞品の発送に代えさせていただきます。お預かりした個人情報、賞品の発送などファンクラブに関する事務以外に使用することはありません。福島県個人情報保護条例に基づき、個人情報の目的外利用はいたしません。